

謹賀新年

本年もよろしくお願い致します



尚美学園大学女子サッカー部一同

第18回関東女子サッカーリーグ 入替トーナメント大会

2011年度最後の公式戦となる
のは関東女子サッカーリーグ

(通称：関東リーグ)の入替戦だ。この大会は関東各都県の代表チームがトーナメント戦を行い、勝ち上がった2チームと関東リーグの下位2チームが入替戦を行い、2012年度の関東リーグ参戦チームを決めるものだ。尚美は昨年、この大会で優勝を収め関東リーグへの参入を決めた。しかし初めての関東リーグは苦しい試合が続き、結果8チーム中7位となり、残留をかけて入替戦へ臨むこととなった。質の高いチームをつくるためには関東リーグでの経験は欠かせない。チームが強くなるために、そして昨年の借りを返すために、何と少しでも残留しなければならない。3試合を勝ち上がってくるチームは自信と勢いがある。シードで迎えるトーナメント戦はどんな番狂わせが起こってもおかしくない。それに対して尚美はどれだけ万全な準備ができるか。戦いはすでに始まっている。

1月14日 1月15日 1月21日 1月22日



1月22日(日) 13:00kick off
武蔵丘短期大学グラウンド
対戦相手未定(21日に決定)

※4年生の引退試合!

ブロッサムリーグ

優勝!

関東大学女子サッカー連盟（通称：学連）が大学女子サッカーの普及と発展を目的として、公式戦経験の浅い選手や次世代を担っていく新人選手を対象とした育成リーグである“ブロッサムリーグ”が12月25日に全日程を終え、尚美は5勝1分の負けなしで優勝を収めた。最終戦となった慶応義塾大学戦。すでに他の大学は日程を終えており、尚美が優勝するには、暫定1位である早稲田大学との得失点差の関係で7点差以上で勝たなければならないという条件があった。しかし直前に行った練習試合では得点力不足が露呈し、監督からの檄が飛ぶ。意地を見せたいメンバーは慶応義塾大学を相手に積極的に攻め込む。そして前半20分、2年・白土の精度の高いコーナーキックを3年・久木田が



頭で合わせ待望の先制点が決まる。そこからリズムが生まれ、3年・丸山が2点、久木田がさらに1点を追加する。4-0で折り返した後半、早々に相手の個人技から1点を返されてしまう。タイトルがかかったこの試合を落とすわけにはいかない。1年・安部がゴール前でGKをかわし追加点をあげると、再び試合は尚美ペースとなる。パスをつなぎ始めた尚美は白土のミドルシュートが2本決まり、優勝条件まであと1点に迫る。試合終了が迫った後半ラスト、またもコーナーキックから久木田がこの日3点目となるゴールを決め、見事優勝を決めた。普段なかなか公式戦に出ることのできないメンバーが勝ち取ったタイトルは自信となり、チームの底上げにつながったに違いない。なお、個人賞としてリーグMVPと得点王に1年・宮内が、同点得点王として1年・上原が輝いた。

第4回会長杯 埼玉県女子サッカー大会

12月18日、埼玉県のNo.1チームを決める大会が行われた。関東リーグ所属の3チーム（武蔵丘短期大学・浦和レッズユース・尚美学園大学）と県リーグ優勝チーム（大東文化大学）の4チームでのトーナメント初戦、尚美は浦和レッズユースとの対戦となった。尚美は4年連続出場をしているものの、いずれも初戦敗退と、一度も決勝へ進んだことがない。今年こそは、と臨んだが、序盤から相手ペースで試合が進む。U-17日本代表も擁する相手に苦戦を強いられ、先制点を与えてしまう。ここで目が覚めたか、相手ゴールへ攻め込むとコーナーキックをもぎ取る。そのこぼれ球を4年・古市（美）が体ごとゴールへねじ込み、同点に追いつくことに成功、前半を終える。勝負をかけた後半一進一退の攻防が続く。DF陣は必死にゴール前を守る。しかしペナルティエリア内でファールを取られ、PKを与えてしまう。これを冷静に決められ再び1点を追う展開になる。残り時間が少なくなり、点を奪うためにシステムの変更を試みるが1点が遠い。そして2-1のまま試合終了。決勝進出はまたもおあ



ずけとなった。この日で4年生の半数が進路などの都合で引退となったが、有終の美を飾ることはできなかった。残る公式戦は入替戦のみ。シーズン最後の試合こそ勝利で終わりたい。なお、今大会の決勝は浦和レッズユースが武蔵丘短期大学を破り優勝を収めて終了した。

世代交代！ 新キャプテン紹介します

まだ4年生は残っていますが、インカレを区切りとして世代交代が行われました。

飯塚うなみ #27 GK
一言！
(埼玉栄高校出身)

「先輩方の残してくれた伝統を維持・発展させ、世界一のチームを作るため、ひと暴れしたいと思います。皆様のご協力と熱い声援を宜しくお願いします！！」



編集後記

新年が始まりましたね！今シーズンの公式戦も残すところ1試合となりました。昨年度、先輩たちと昇格させた関東リーグが降格の危機にあります。チームを関東リーグに残留させることが、私たち4年生が最後にすべき仕事だと思います。まだ一緒にサッカーができると、前向きにとらえて必ず仕事をやり遂げて引退を迎えたいと思います。チームは世代交代をし、また新しい一歩を踏み出そうとしています。最初からうまくはいかないと思いますが、今年こそ国立のピッチに立てるように頑張ってください。また、次号からこのNEWSも後輩に引き継ぎします。1年間ありがとうございました。

4年主務 本谷さち